



キャリアデザイン 1b

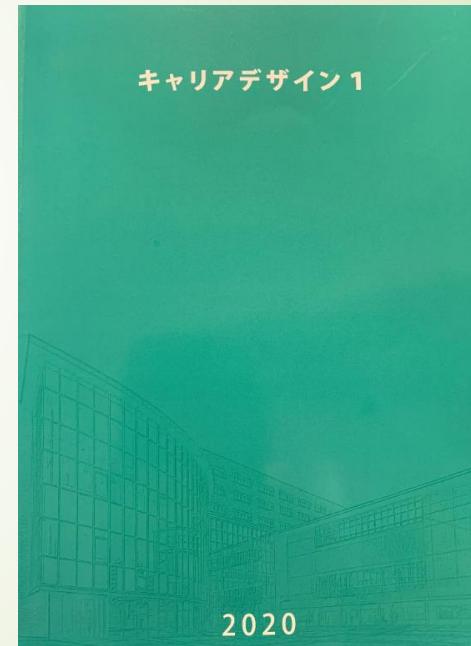
第7回 働き方を考える⑥

男性の働き方・女性の働き方

丹山 美香

本日の授業

ジェンダーの観点より、
労働実態について考える



キャリアデザイン1

2020

多様化するライフコース

- ①未婚率の上昇
- ②少子化・晩婚化
- ③共働き世帯の増加
- ④非正規雇用の増加
- ⑤生活の多様化

出産・育児について

1. 出産しない女性が増加(少子化)
2. 出産時期が遅くなっている(晩婚化～晩産化)
3. 生活環境の変化 大家族→核家族への変化～
家庭機能の一部外部化(サービス化)
 - 外食/ネットショッピング/塾 etc.

介護の現実について

- 少子化(一人っ子が多い) + 未婚率が高い

→収入を得ながらの介護(**多重役割**)

- 晩婚化と晩産化

→子育てと介護時期が重なる(**多重役割**)

- 核家族化→遠隔介護

アンケートをしながら、 ライフコースについて 考えてみましょう♪

2023 就業意識アンケート (キャリアデザイン 1 b)

このアンケートは、大学生の就労意識と規範としてのジェンダーの関係性についての任意アンケートです。利用範囲は、「研究・授業」です。テストではないので正しい答えはありません。今までの経験や授業を通しての考え方を元に入力してください。匿名でのアンケート調査となります。結果を、その会場（教室）で共有することもあります。

1. 【属性】あなたは現在何年生ですか？

- 大学 1 年生
- 大学 2 年生
- 大学 3 年生
- 大学 4 年生

性別職務分離

- 職業内部の役職の男女比

(役職が上がるほど女性割合が低い)

- 非正規雇用者(男女)の約7割が女性

(子育て後の再就職はパート)

- 年齢階層別1週間の就業時間数

すべての年齢において男性よりも女性が短い

- 職業別に見る就業者の男女比

(事務やサービス職に女性割合が高い)

ジェンダーギャップ指数

* 1に近づくほど男女平等

北欧圏が上位を占める

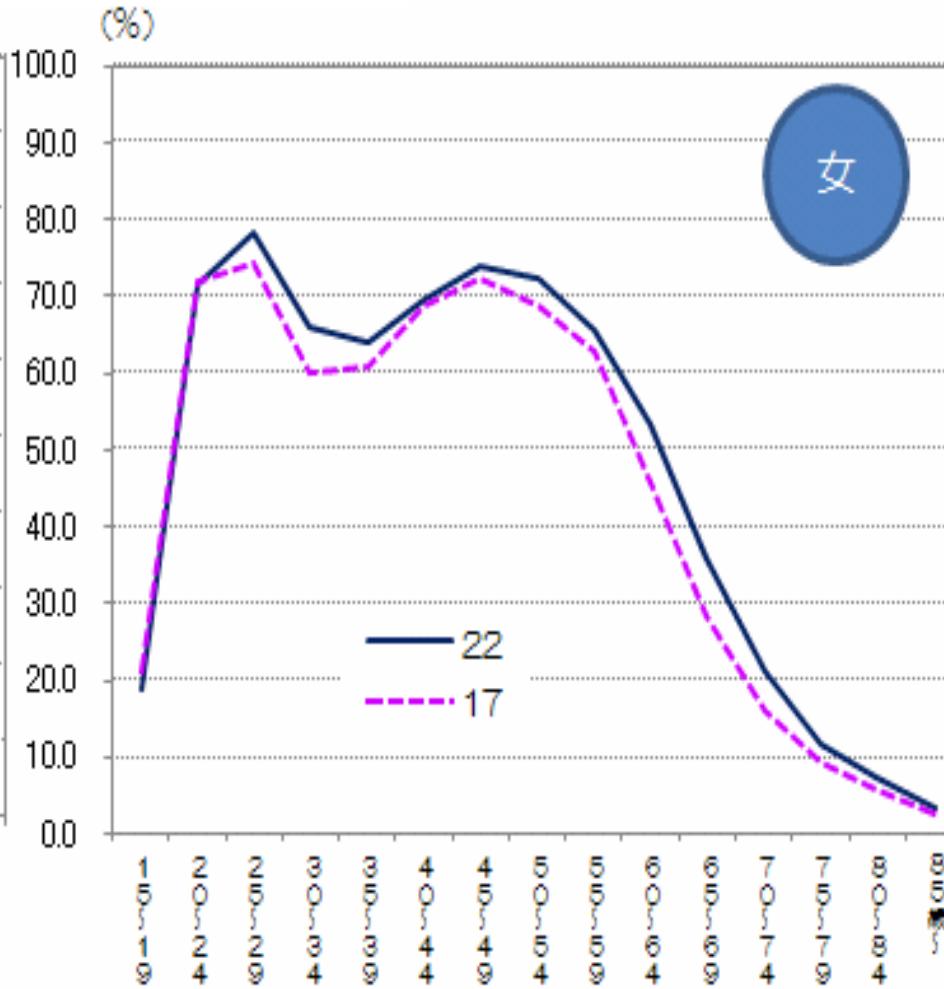
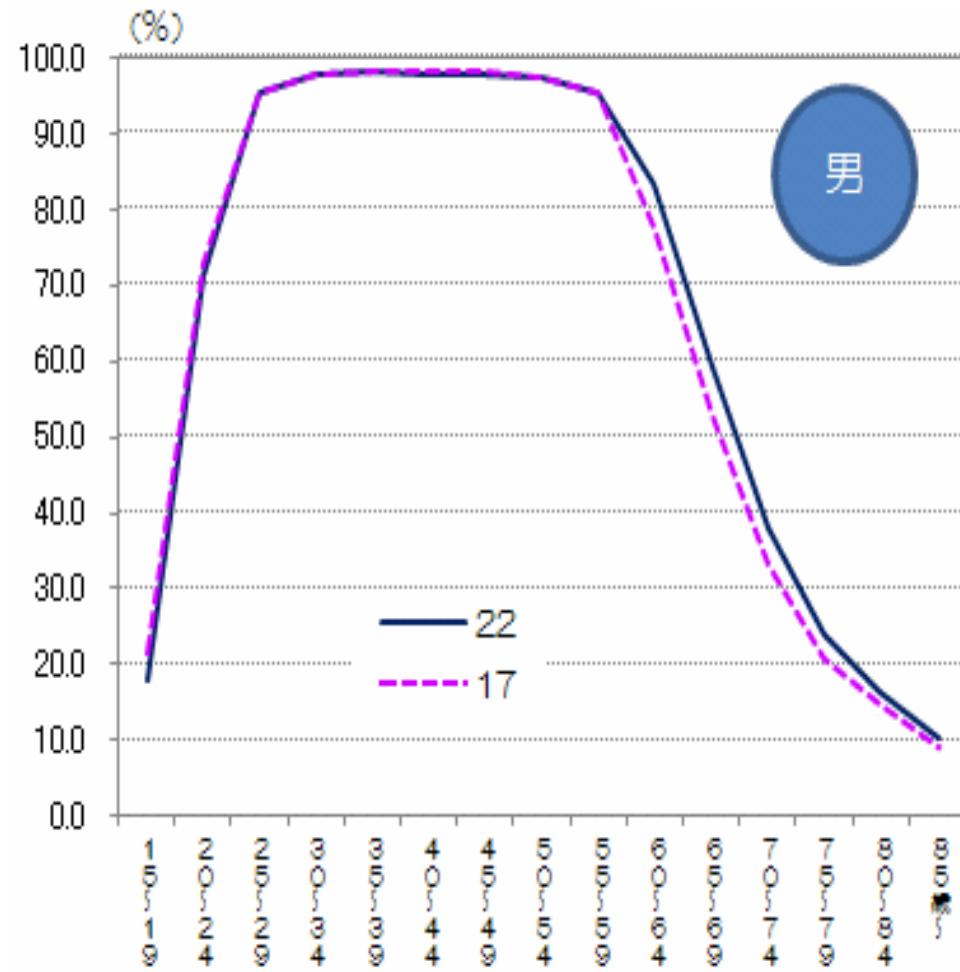
アジア圏は、下位

GGI(2020) 上位国及び主な国の順位		
順位	国名	スコア
1	アイスランド	0.877
2	ノルウェー	0.842
3	フィンランド	0.832
4	スウェーデン	0.820
5	ニカラグア	0.804
6	ニュージーランド	0.799
7	アイルランド	0.798
8	スペイン	0.795
9	ルワンダ	0.791
10	ドイツ	0.787
15	フランス	0.781
19	カナダ	0.772
21	英國	0.767
53	米国	0.724
76	イタリア	0.707
81	ロシア	0.706
106	中国	0.676
108	韓国	0.672
121	日本	0.652

順位	国名	値
1	アイスランド	0.912
2	ノルウェー	0.879
3	フィンランド	0.863
4	ニュージーランド	0.856
5	スウェーデン	0.815
6	ドイツ	0.815
15	英國	0.792
30	カナダ	0.770
40	フランス	0.756
43	アメリカ	0.748
79	イタリア	0.705
102	マレーシア	0.682
105	韓国	0.680
107	中国	0.678
124	モルディブ	0.649
125	日本	0.647
126	ヨルダン	0.646
127	インド	0.643

男女別労働率

平成22年国勢調査産(名古屋市)より



ワーク・ファミリーコンフリクト

仕事役割と家庭役割双方向性を持つ役割葛藤

	家庭→仕事	仕事→家庭
時間	急な子供の病気により、会社を早退・遅刻したりする	残業となり、預けている子供を迎えに行くのが遅くなる
ストレイン	病気の家族を残してきたために、気になり仕事に集中できない	仕事ストレッサーによる疲れのために、家では何もやる気が起きない
行動	家庭でのんびりした態度が、仕事にも出てしまう	仕事で求められる厳しさを家庭に持ち込んでしまう

第8回 本日の キーワード

- ▶ 女性の労働力率（M字）
- ▶ 性別役割意識
- ▶ 性別職務分離